

2024年12月27日
スカイマーク株式会社

機内誌『空の足跡』1月号で「東京駅」を特集！ 建築家・田原幸夫氏とスカイマーク本橋社長の新春スペシャル対談を掲載

スカイマーク株式会社(以下:スカイマーク、本社:東京都大田区、代表取締役社長執行役員:本橋 学^{もとほし まなぶ})の機内誌『空の足跡』では、毎年1月号に、特集のテーマに関連する方をお招きし当社社長との新春スペシャル対談を掲載しています。本年は、特集「東京に行こう！東京駅 丸の内駅舎の復原」にちなみ、東京駅丸の内駅舎保存復原プロジェクトの設計責任者である建築家・田原幸夫氏との対談です。歴史的建築物の復原プロジェクトの全貌と、その裏側について語り合いました。



東京駅の魅力を深掘りする特集内容

2012年、東京駅は「丸の内駅舎復原工事」が完了し、歴史と先進性が融合した魅力あふれる駅に生まれ変わりました。今回の特集では、田原氏が語る「復原」と「復元」の違いや、東京駅復原工事における「歴史を生かす」ことの意義を紹介。

また、東京駅の歴史や意匠に隠された物語、東京ステーションホテルや東京ステーションギャラリーの見どころも取り上げています。2024年12月20日に開業110周年を迎えた東京駅の魅力を、スカイマークの視点でお届けします。

ぜひ、機内誌『空の足跡』1月号をお手に取り、東京駅の魅力を存分にお楽しみいただければと思います。

取材協力:

JR東日本建設工事部、JR東日本東京建設プロジェクトマネジメントオフィス、
東京ステーションホテル、東京ステーションギャラリー、JR東日本クロスステーション フーズカンパニー

(ご参考)機内誌『空の足跡』について

スカイマークの機内誌『空の足跡』は、スカイマーク広報室が企画・編集・制作を一貫して手掛ける、月刊発行の機内誌です。「地域共生」を制作コンセプトに掲げ、就航地の魅力を掘り下げ、地域の生活・文化・歴史を紹介することで、スカイマークが結ぶ地域の魅力を再発見し、読者に新たな旅の楽しみを提案しています。オールカラー仕様で、スカイマークの全便のシートポケットに搭載されており、自由に閲覧・持ち帰りいただけます。スカイマーク機内唯一のエンターテインメントとして、多くのお客様に親しまれています。

以上